令和6年能登半島地震 | 生した。さらに沿岸部では |

した。この時点で石川県内

り連休明けの9日頃まで は県内業者で対応すると

|確保することを目標に9 とが考えられ、倍の26台を 以上のし尿が発生するこ |数の増加ペースから想定

日まで待機を継続するこ

特に過酷な支援となった。

れが残る第一班にとっては るなど、睡眠不足による疲 援は片道5~7時間を要す 滞を引き起こし、初日の支

それを雪が覆い隠したこ

路陥没、段差は多く残り、 応急処置に近く、危険な道

とで、ドライバーの負担は

準備を要請した。同日午後

登半島地震対策本部を設 口午前9時、全国環整連能

全国の各県組合に支援

4時、石川県危機管理課よ

において避難所332カ

汚泥の搬出を行った。

期間は1月10~23日の14日間で、活動規模は延べ

し尿・汚泥の搬送量は約33万㎡に達した。

処理ニーズが発生することを見越し、直ちにバキュームカー83台、作業 登半島地震で災害支援活動を実施した。発災後、被災地においてし尿

全国環境整備事業協同組合連合会(玉川福和会長)は、令和6年能

ついて連絡が入った。

こうした状況から同4

必要になると試算した。た

のない一本道に支援車両、 状況となっていた。迂回路

させたこともあった。

め道路事情を一段と悪化 の後半からは雪が降り始

令和6年能登半島地震災害支援実績

両の通行にすら支障を来す

ど遠い状況で、さらに支援 率的な支援を行うにはほ

被災者の車が殺到して大渋

で進められていたものの、

道路の復旧は急ピッチ

だし断水の発生や、避難者

キュームカーは最低13台 33キロリットル・日、バ 避難所のくみ取り支援に | ではし尿の発生量は最低

員166名からなる支援体制を構築。 その後、石川県の要請を受け珠洲 巾、七尾市、輪島市の3市にて、稼働停止したし尿処理施設からし尿・

は1月1日、

午後4時10分

4メートルを超える津波

に発生した。マグニチュー

に襲われた。

損壊した処理場からのし尿・汚泥の 搬出を実施した

県危機管理課より支援の正

羽昨市の「国立能登青少年

宿泊場所は

交流の家」に決まり、直ち

月9日午前8時、石川

(1)

のピットに溜まったし尿・

で、羽咋市には当日26時、

福島で構成するバキュー

|23日の期間中、

先導車2台4名という体制 作業員28名、連絡等を担う

市浄化センターおよび七尾 るため、稼働停止した珠洲

尿収集運搬体制を確保す 作業内容は、地元業者の

するバキュームカー13台、 |滋賀、京都、和歌山で構成 全国環整連

**戸和6年能登半島地震災害支援を実施** 

珠洲市など3市で延べ111台、

222名

キロで、通常であれば2時

目的地の珠洲市浄化セン

制だった。

今回は震災によって道路が

間は片道4時間程度まで

善し、第2班以降の所要時

道路事情は日に日に改

短縮したが、依然として効

深夜2時までには全員が集

ムカー10台、

作業員18名、

過去の阪神淡路大震災、新

玉川会長は今回の支援

キュームカーを持ってい

かなければならない」と述

る限り、困っている人がい | べた (支援の様子は2面に

たい。また一般 掲載)。

いる。そして私たちがバ | 点からも支援は続けてい

先導車1台1名という体

潟県中越沖地震、東日本大 | れば支援し

行 所

# 環境整備事業関係広報紙 3月号】

化槽保守点検清掃·産 業廃棄物等の取扱業 者による全国団体の 広報誌です。

協同組合連合会

千代田区永田町2-17-17 アイオス永田町 612 号室 TEL (03) 6453 - 0607 FAX (03) 6453 - 0608

布しております。

会員·関係企業·官公 庁・地方公共団体に頒

目 次

2面…一廃許可区域割り巡り国会質問

晶

-- 令和6年能登半島地震支援を実施

べ 32 台、

作業員延べ64名と

た。世の中

には下水道の普

震災でも支援を行ってき

10万3510㎡、車両は延

욻

…令和6年新年懇親会に来賓多数

に引き継ぎ、1月24日に全 その後、作業を地元業者

もいるが、

それは誤りで

カーは不要と言われる方

及等によってバキューム

あり、まだ必要とされて

続する必要があり、その観 況であろうと安定的に継 害時を含め、どのような状 ない業務とされている。災 争に委ねられるべきでは |廃棄物処理事業は自由競

6面…立憲・一廃処理議連が第7回総会

部衛生センター、白山市松 から羽咋郡市広域圏事務組 質管理センター、 生センター、七尾市中央水 羽咋郡市広域圏事務組合衛 なかクリーンセンターから 合衛生センター、七尾市な ても、珠洲市浄化センター 任浄化センターまでし尿・ ただこうした状況であっ 金沢市西 浄化センター、七尾市なな しかし第2班も珠洲市

するなど甚大な被害が発 | において緊急会議を開催

があり、同日正午に岐阜県

被災地支援について連絡

川県危機管理課より支援

同3日午前9時には、石

あった。

ることになるとの連絡が

組合の支援体制は、バ

この時点における各県

日、改めて支援を依頼す の報告があったが、翌5

ととした。

同正午に志賀町役場より

3万3055人まで膨れ

危機管理課と連絡を取り

上がっており、対策本部一合い、支援準備を進めた。

石川県要請受け10日より

し尿・汚泥の搬出開始

に関する打診があり、また

373力所、

避難者数

4日時点では避難所

166名となっている。ま キュームカー83台、作業員

ないほどの激しい揺れに 7。立ち上がるほどができ ド7・6で、最大震度は

民主党の泉健太代表から

翌日2日の午前8時、立憲

理のひっ迫が予想された。

人との報道があり、し尿処

避難者数2万7785

全国環整連においては、

第1班の作業は1月14 田分場から羽咋郡市広域 島市クリーンセンター宅 べ40台、作業員延べ80名。 まで搬出を行い、 圏事務組合衛生センター、 かクリーンセンター、 ~19日までの運搬量は 金沢市西部衛生センター

業員16名、 名、第3班は岩手、 るバキュームカー8台、作 阜、京都、和歌山で構成す べ78名となった。 車両は延べ39台、作業員延 運搬量は11万3850㎡、 日まで続けられ、期間中の また続く第2班は、 組合衛生センター、 沢市西部衛生センターま 市松任浄化センター、 リーンセンター、輪島市ク から羽咋郡市広域圏事務 リーンセンター宅田分場 ンター、七尾市ななかク

白山 金

に第一班が出動した。岐阜、

第3班は珠洲市浄化セ 、 1 月 15

"暗黙"の区域割りも独禁法抵触

運搬量は | 事業者が相談して区域を | 価格などの ので、末松議員は「例えば の末松義規議員が2月28 日の衆議院予算委員会で 公取委 盟幹事長 理議員連 禁法上で何かを申し上げ 棄物処理法に基づき市町 る独禁法上のカルテルに 村長が定めることは、独 該当する場 合がある」「廃 ない。ただし、 面での共同行

作業人数 作業台数 作業日 運搬量 (m3) (台) (人) 1月10日 7 14 22, 200 1月11日 9 25,770 18 1月12日 8 16 21, 480 7 1月13日 14 17,960 1月14日 8 16 26, 440 23, 340 1月15日 16 1月16日 16 20,640 8 1月17日 8 16 24, 340 1月18日 8 16 24,060 1月19日 16 8 20, 110 1月20日 8 16 23,860 1月21日 8 16 26,740 1月22日 8 16 26,540 26, 370 16

222

329,850

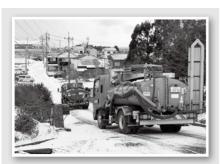
廃棄物処 の古谷一 は、業者 を示した。 との見解 抵触する 独禁法に 域割りは 暗黙の区 間による 之委員長 引委員会 立憲民 公正 を拘束して るが、一般論としては廃 | づいて判断する必要があ うかは具体的な事実に基 禁法)違反に当たるかど 場合は、相互に事業活動 を決定して 割りがなさ 棄物処理法に基づき区域 委員長は「独占禁止法(独 か」と質問し、古谷一之 許可業者がそれぞれ区域 | 般廃棄物処理計画に基づ 止法上の指導対象になる とすると、 定めるとい いう話になった これは独占禁 れていない中、 競争を制限す 仕事をされる と区域割りの関連につい 長の山崎誠議員からも清 なことが浮き彫りになっ |く適切な区域割りが必要 改めて浄化槽清掃率の向 て質問があった。 の結果と、浄化槽清掃率 |掃・保守点検実施率調査 為には注意いただきたい」 た (関連記事2面)。 と回答した。 上について、市町村の一 これらの答弁を通じて、 また当日は議連事務局 1月23日 8 合計 111

お詫び

民主党です。お詫びして た。小山展弘議員は立憲 の紙面に誤りがありまし

訂正いたします。 広報環整連第567号

# 全国環整連 令和6年能登半島地震災害支援



第2班以降は降雪により路面状況が 層悪化した



支援隊員を悩ませた渋滞。珠洲市まて片道7時間を要することもあった



羽咋郡市広域圏事務組合衛生センターへの投入の様子



支援最終日(23日)までを担当した第 3班の車両



珠洲市浄化センターからのくみ取りの様子







10日からの支援に集結した第1班の車両



マンホールが隆起し、下水道が使用不

能になった地域も多く見られた

連日汚泥の搬出を繰り返し、被災地の し尿受入体制を確保した



支援に当たった第2班の車両



七尾市中央水質管理センター(下水処 理場) においても―部支援を実施した

数値を誇る

まず清掃家

伊藤大臣と

た」としている。 64%」「清掃率40%未満の 化槽清掃率の全国平均は 境省が示した速報では、「浄 掃・保守点検実施率調査に とで、さらにその8%が浄 目治体に対して聞き取りを おける不備を指摘した。 年5月以降に実施した清 化槽台帳の問題を取り上げ 行ったところ、 による指導が不十分とのこ 50%が行政 環

おらず、指導が十分に行え は聞き取り調査の対象が の清掃率は平均6%で、 **ないことから清掃率が低迷** ていると評価するものだ 浄化槽台帳が整備されて 06自治体と少ないこと これに対して山崎議員 3 いか低いか、これには複数 らも指摘した。 ついて、 るのではないか」と、区域 の要因が考えられ、 なければ基準に合わなくな を考えるならば1社で全域 によって発生する不都合に に対応できるだけの能力が これらの質問について伊 委託基準の観点か 「清掃実施率が高 まえて、

てまいりた

検討会のメンバー

禁法に抵触するおそれもあ

6検討したい」と | る中、実情に沿って区域割

台帳の整備状況も含まれて いう話になったとすると、 法の関係を取り上げ、まず 相談して また区域割りと独占禁止 区域を定めると 一と答えた。 大臣は「ご指摘を踏まえて か」と環境省に問い、伊藤 検討を重ねてまいりたい りすることが重要ではない

らに清掃実施率が80%以上

黙の区域割りが独占禁止法に抵触するとの見 の向上について「適切に判断してまいりたい」 局の角倉一郎次長、公正取引委員会の古谷 性に係る質問を踏まえた上で、浄化槽清掃 の伊藤信太郎環境大臣、環境再生・資源循 廃棄物収集運搬業許可の区域割りについて と答弁。また古谷委員長は、業者間による暗 乙委員長が立ち、伊藤大臣は区域割りの必! 中的な国会質問が行われた。 答弁には環境省 般廃棄物処理議員連盟事務局長の山崎誠 茶議院予算委員会で2月28日、 同幹事長の末松義規議員の2名から一般 立憲民主党

対応してま

質問は山崎議員から行わ り上げ、 りる施設、 が受託業務を遂行するに足 基礎を有する」の部分を取 搬に係る委託基準「受託者 に加えて一般廃棄物収集運 を厳しく指摘しつつ、これ は46%で有意な差が出てい の自治体に限れば区域割り けようとする環境省の姿勢 「全域許可の場合 人員及び財政的

はおかした を問題視し を委員に含めないというの ティス(最優良事例)の方々 事例については、しっかり | の面での共同行為には注意 と指摘した 委員が含まれていないこと 況点検検討会」に岐阜県の ヒアリング等を行うことに わけであり、ベストプラク 上に向けての検討もされる これに その上で 「岐阜! いのではないか」 県等の先進的な し、「清掃率の向 浄化槽法施行状 、環境省が今般

ついて伊藤大臣 | で何かを申し上げる立場に 判断すると断りつつ「問題 | て具体的な事案に基づいて | 質問し、古谷委員長は改め はない。ただし、価格など となる恐れがある」「廃棄 |を定めた場合はどうか」と いただきたい」と述べた。 合はどうか」「行政が区域 うちに区域割りができた場 物処理法に基づき市町村長 年の経緯によって、暗黙の が定めることは、独禁法上

## 衆議院

〒向上へ答弁

次長の「必ずしも1社で対 いると考えている」。また | これは独占禁止法上の指導 い」という答弁も踏まえ、 応すべき形にはなっていな 断であり、 区域割り に関する角倉一郎 検討会にて精査、 区域割りで国会質問 は市町村長の判 対象になるか」と質問した。

き先進事例であることを確 | する場合がある」と回答し 点検実施率調査について、 また末松議員は、山崎議 破阜県について ともに評価すべ 95%以上と高い げた清掃・保守 いりたい」と回 | る場合は、相互に事業活動 き区域割りがなされていな る必要があるが、一般論と |の古谷一之委員長が立ち、 | 独禁法上のカルテルに該当 |を拘束して競争を制限する 区域を決定して仕事をされ い中、許可業者がそれぞれ 的な事実に基づいて判断す 「独占禁止法(独禁法)違 反に当たるかどうかは具体 しては廃棄物処理法に基づ 答弁には公正取引委員会

員も取り上

より情報を踏まえ、検討し い。ご指摘も踏 一の答弁を受けて改めて「独 末松議員は、古谷委員長 末松議員は続けて、「長

# NITTO KOHKI

# 逆洗式浄化槽には、これ1台。 18通りの作動プログラムをインストール済!



自動逆洗式 メドーブロワ® LAG-80E

☆お問い合わせは、お取り扱い販売店様へお尋ねください。

【逆洗・ばっ気の切り替えが可能 右ばっ気、左ばっ気が1台で対応可能。

手動逆洗6·12·168(7日間)時間 長時間設定可能。(通常10分)



簡単プログラム設定

200Lまでの ピストン方式ブロワに取り付け可能



リニア駆動フリーピストン方式

(長寿命) (突然停止しない) (らくらくメンテナンス) **4. メドーブロワ** 

修理研修受付中/デモ機依頼お気軽に!

技術で、人を想う。

日東工噐株式会社

〒146-8555 東京都大田区仲池上 2-9-4 Tel:03-5748-5521 Fax:03-3754-0258



水中ポンプ・陸上ポンプ 給水ポンプ・薬注ポンプ 配水管清掃機器·薬剤 各種産業用ベルト・ホース

浄化槽関連部品·FRP補修剤

水質検査器·理化学機器 浄化槽用消毒薬·維持管理剤

即配システムが当社のモットーです。

水処理関連機器の総合商社

# 株式会社日環商事

Nikkan

〒920-0333 石川県金沢市無量寺5丁目75番地

TEL:076-268-1771(代) FAX:076-267-5348 FAX専用 フリーダイヤル 0120-617-718

E-mail:info@nikkan-shoji.co.jp http://www.nikkan-shoji.co.jp

〒769-0103 香川県高松市国分寺町福家甲196番地1-101 四国営業所

TEL:087-813-7621 FAX:087-813-7011

九州営業所 〒812-0861 福岡県福岡市博多区浦田1丁目5番21号-7

TEL:092-558-4828 FAX:092-558-4827



DEOMAGIC VC1 Oil オマジック。VC1オイル

# **▲ TOHO** 臭気改善で住み続けられるまちづくりを

衛生車・吸引車の臭気対策に デオマジック® VC1 オイル

DEOMAGIC® VC1 Oil

🌯 お 得! 脱臭剤が不要になります。

簡 単! 今お使いのオイルと同様に定期的な交換だけ

新技術! 不快臭を取込んで良い香りに変える技術 EOMAGIC. 全国ネットの特装自動車の総合メーカ 東邦車輛株式会社

デオマジック®VCオイルは糞便臭を甘い香りに変化させる潤滑油です。 作業者様や地域住民の皆様に大好評です。

### お問い合わせ先

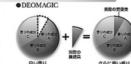
## 東邦車輛株式会社 部品営業課

〒236-0043 神奈川県横浜市金沢区大川3番1号 TEL:045-784-1195 / FAX:045-784-1196 Email:deomagic.vc1@shinmaywa.co.jp



香水は、何十種類もの香料の 成分をブレンドして完成します。

消臭のメカニズム



良い香りの「デオマジック」に不快な質便臭 さらに良い香りに変わります。

営業本部	TEL: 045-575-9901	信越営業所	TEL: 025-283-6571
直販部	TEL: 045-575-9902	中部支店	TEL: 052-218-5123
直販部直販課	TEL: 045-575-9253	金沢営業所	TEL: 076-223-1191
北海道支店	TEL: 011-633-7101	近畿支店	TEL: 0798-52-2100
東北支店	TEL: 022-782-5040	東邦車輛サービス	TEL: 072-433-2401
仙台部品出張所	TEL: 022-782-5065	中四国支店	TEL: 082-890-2882
北関東支店	TEL: 0276-89-1551	九州支店	TEL: 092-441-1951
茨城営業所	TEL: 0298-22-5569	福岡部品営業所	TEL: 092-441-0634
関東支店	TEL: 03-3843-3351	南九州営業所	TEL: 099-252-2070



# KRK 笠原理化互業株式会社

### 本社・工場移転のお知らせ このたび、弊社は本社・工場を移転致しました。 電話番号・FAX番号も変更となりました。

本社: 〒340-0203 埼玉県久喜市桜田2丁目133番8 TEL 0480-38-9151(代) FAX 0480-38-9157 URL http://www.krkjpn.co.jp

### ピストン式採水器 比色試験器 測定値のバラツキが少ない、電子式透視度センサー ミズテッポ1号/2号 アクアテスター、DPD試薬 プローブ型透視度センサー: TP-10Z 一体型透視度センサー: TP-30 1Z / 2Z シリーズ 72 シリーズ 1回で (9段階測定) (10段階測定) 500mℓ 採水OK! DPD残留塩素測 深い所 狭い所 比色法、ニーズに対応、粉末分包試薬、 浅い場所の 液体試薬をライナップ 従来 採水OK! プローブ型 一体型 透視度測定は従来JIS法に基づく 粉末分包試薬 型式 TP-30 TP-10Z 目視測定式透視度計が用いられています。 問題,対策 測定方法 採水/投込 採水 目視式は測定環境の影響が大きい。 2~200cm 測定範囲 2~200cm 電子式透視度センサーは安定した測定を実現。 0~2Abs DPD-WA-50 DPD-TL-1 DPD-GL-10 DPD-F-1 遊離残留塩素試薬 全残留塩素試薬 DPD液体試薬

# KRK 笠原理化互業株式会社

本社・工場移転のお知らせ このたび 弊社は本社・工場を移転致しました 電話番号・FAX番号も変更となりました。

本社: 〒340-0203 埼玉県久喜市桜田2丁目133番8 TEL 0480-38-9151(代) FAX 0480-38-9157 URL http://www.krkjpn.co.jp

テーパ付採水ノズル

# 全国環整連

# 令和6年新年懇親会で災害支援に各界から謝意

染症の問題がクローズアップされ 賢也衆議院議員は「被災地でも感

全国環整連の一層の発展を祈念し げる年にしてまいりたい」と述べ 環境省幹部から祝辞があり、秋葉

状が明らかになってきた。今年は

槙み上げてきたものを成果につな

げる区域割りの問題について、現

||務局長が立ち、「皆様方が取り上 般廃棄物処理議員連盟の山崎誠 乾杯の発声には、立憲民主党の

来賓挨拶では出席した国会議員

国会議員の皆様には国民が失望す うな感覚を覚える。本日お越しの

りたい」と述べた。

ながら、今後の国会に臨んでまい で担っていただいた役割も踏まえ

は本当に再建できるのかというよ 次元の出来事が起きていて、日本

ることのないよう姿勢を正してい

にだけたら」と挨拶した。

らっしゃるが、永田町では全く異

することができた。皆さまが現場

つ、「被災地では今後の生活に大

が1月2日で、地元業者との役割 おいて玉川会長と連絡を取ったの

分担のもとでくみ取り体制を確保

地震の被災地支援について触れつ として実施した令和6年能登半島

変な不安を抱えている方が多くい

泉健太代表 (立憲)

山本博司参議院議員

(公明)





(全国環整連)



秋葉賢也衆議院議員



(自民)



小島敏文衆議院議員 (自民)



末松義規衆議院議員 (立憲)



係省、団体から多くの来賓が出席

整連の皆さまのご尽力によって地

公衆衛生の向上が

国会からも自民党の秋葉賢也

会館で新年懇親会を開催した。関

会は1月25日、東京・一橋の如水

ければならない」と祝辞を述べた。

山本博司参議院議員は、「全国環

き続きしっかりと推進していかな

全国環境整備事業協同組合連合

衆議院議員、公明党の山本博司参

**議院議員、立憲民主党の泉健太代** 

まな課題が生じるが、それを乗り 図られている。災害時にはさまざ

越え、支援していただいたことに

表らが駆けつけた。

冒頭で玉川会長は、全国環整連

敬意を表したい」と挨拶した。

泉健太代表は、「能登半島地震に

馬淵澄夫衆議院議員 (立憲)



鬼木誠衆議院議員

(自民)

枝野幸男衆議院議員 (立憲)



鈴木貴子衆議院議員

(自民)

近藤昭一衆議院議員 (立憲)



梶原大介参議院議員 (自民)



石橋林太郎衆議院議員 (自民)



長谷川淳二衆議院議員 (自民)



立憲・一廃処理議連事務局長の山崎誠衆議院議員の発声で乾杯した



井坂信彦衆議院議員



森山浩行衆議院議員



前原誠司衆議院議員 (教育)



横沢高徳参議院議員 (立憲)

棄物処理法第7条11におい

環境省の清掃・

治体について、

一方、全国環整連は、廃

一般廃棄物収集運搬業

らの主張を繰り返した。

整備問題にあるとの従来か は浄化槽台帳システムの未

のは131自治体となって

いる。今回、この131自

重要性を再確認した。

業務を継続していくことの

率が40%未満の自治体に

変更はなく、環境省が清掃

ただし全体として大きな

6%に上方修正された。

行ったヒアリング結果から

も、清掃率が低迷する原因

の許可に関して「区域を定

め、又は生活環境の保全上

合わせて、浄 率調査と重ね 保守点検実施

数、清掃実施基 化槽の設置基

数について尋

(6)

# 廃処理議連が第7回総会開く

環境省の拙速な結論づけに厳しい指摘

関連がないと拙速に結論づけようとする環境省の姿 議連)は2月27日、衆議院第一議員会館で一般廃棄 物収集運搬業の区域割りに向けた第7回総会を開催 勢に対して厳しい指摘が相次いだ。 した(写真)。環境省、全国環整連が参加する中、 意見交換が行われ、議連からは清掃率と区域割りに 立憲民主党の一般廃棄物処理議員連盟(一廃処理

を依頼したところ、清掃実 施率の全国平均は63%から 施状況が不明な市町村は約 200まで減少し、清掃実 値を示した自治体に再調査 施率の再調査結果を示し となった清掃・保守点検実 指摘を受け、精査すること から始まり、前回の会合で た。未回答、あるいは異常 総会は環境省の資料説明 要と主張した。 域割りによる実態把握が必 実施計画を策定するには区 が必要であり、廃棄物処理 槽の清掃を継続的かつ安定 法において市町村の義務と 的に実施するには区域割り ついても、実効性ある形で 棄物処理実施計画の策定に して定められている一般廃 こうしたことから、浄化

迷の原因を浄化槽台帳シス 法第7条11の解釈など、環 環境省の姿勢、廃棄物処理 域割りとの関連を否定する テムに結びつけ、頑なに区 備があることや、清掃率低 点検実施率調査にいまだ不 境省に対して厳しい指摘が

改めて「浄化槽の清掃率向 る、残りの29自治体は分か の裏付けであり、総会では ば実態把握が進まないこと らない、原因不明等だった。 治体が許可業者に任せてい この点も区域割りがなけれ 上に区域割りが必要」と訴

計画が未策定の自治体は、 業許可業者が複数存在する かっているが、区域割りが なく、一般廃棄物収集運搬 全国環整連の調査で全国に 180自治体あることが分 また一般廃棄物処理実施 る一般廃棄物処理実施計画 り、議連からは清掃・保守 相次いだ。 のもとで安定的・継続的に 区域割りを行い、実効性あ つつ、廃棄物処理法に則り 行うことの危険性にも触れ えた。 この後は意見交換があ また業者間で区域割りを

連

	自民党	立憲		
	高度化議連	一廃処理議連		
令		10月20日	設立総会	10·8 通矢
1.2				

の考え方について取り上げ

ては75自治体

理由につい

が回答し、46自

高裁における廃棄物処理法

づけられていない」との最 れるべき性格の事業と位置 は、専ら自由競争に委ねら おいて「一般廃棄物処理業 さらに環境省10・8通知に できる」との条文を説明。 必要な条件を付することが

との回答が得

握していない

ねたところ「把

		自民党 高度化議連	立憲 一廃処理議連	内 容
	令		10月20日	設立総会 10・8 通知と廃棄物処理法における市町村の責務について説明
	7和4年	11月8日	11月24日	全国環整連「最高裁判決は区域を定める必要があると示している」 環境省「11条7『区域を定め、または・・できる』の解釈は、できる規定のため定めなくてもよい」
議			12月13日	全国環整連「区域を定めていない市町村は実態を把握できていない」「全国において業者間の区域割りは独禁法違反として注意を受けている」環境省「区域の定めと清掃率には相関関係はない」「公取の話は知らない。県・市町村から相談や報告はない」
までの活		3月28日	3月22日	全国環整連「区域を定めない行政上のメリットはあるのか」「公取からは廃棄物処理法における区域の定めは、独禁法の対象外と聞いている」 環境省「区域の定めは自治体において判断し選択される。区域の定めなく清掃率が高い市町村ある」「業者の長年の努力による区域はカルテルに当たらない」 議員「区域を定めなく清掃率の高い市町村の調査を依頼」
	令和 5	6月20日	5月31日	環境省「区域の定めなく清掃率が高い市町村の12市町を公表」「業者の長年の努力による区域はカルテルに当たらない」 全国環整連「12市町すべてにおいて暗黙であれ区域が存在した」「業者間の暗黙の区域割りは独禁法違反にあたるため法律通りに区域を定めてほしい」 議員「すべての市町村の清掃率の調査を依頼」
	年		11月20日	環境委員会質問(山崎)大臣「処理実施計画未策定の違法状態を是正するために市町村に指導していく」
動実績		11月15日	11月21日	環境省「清掃率速報値を公表。区域と清掃率には相関関係はないと分析した」「業者間の暗黙の区域割りはカルテルに当たると認識している」(前言撤回した) 全国環整連「処理計画未策定の市町村が 200 以上存在する」
令	令和		2月27日	環境省「清掃率の精査結果を公表。区域と清掃率には相関関係はないと分析した」「業者間の暗黙の区域割りはカルテルに当たると認識している」 議員「未だに未報告、0%も存在する。精査しても信びょう性がない」 全国環整連「清掃実施のために処理計画があり、計画には区域が必要である」「法律に則り、区域を定めた処理実施計画の策定を求める」
	6 年		2月28日	予算委員会第6分科会質問(山崎・末松)大臣「清掃率の目標は100%。あらゆる政策手段を進める」 公取「暗黙の区域割りはカルテルである」
			3月26日	岐阜県のデジタル化紹介

全国晋敕审	今和6	午新午貇鉬亼

来賓一覧	来賓一覧(国会議員) (敬称略)				
氏 名	所属	Γ	氏	名	所 属
秋葉 賢	也 衆議院議員(自民)		井坂	信彦	衆議院議員 (立憲)
石橋林太月	邪 衆議院議員(自民)		泉	健太	衆議院議員 (立憲)
江渡 聡	恵 衆議院議員(自民)		枝野	幸男	衆議院議員 (立憲)
鬼木	成 衆議院議員(自民)		大串	博志	衆議院議員 (立憲)
梶原 大	介 参議院議員(自民)		近藤	昭一	衆議院議員 (立憲)
亀岡 偉	民 衆議院議員(自民)		末松	義規	衆議院議員 (立憲)
小島 敏	文 衆議院議員(自民)		馬淵	澄夫	衆議院議員 (立憲)
小寺 裕	推 衆議院議員(自民)		森本	真治	参議院議員 (立憲)
末松 信	介 参議院議員(自民)		森山	浩行	衆議院議員 (立憲)
鈴木 貴	子 衆議院議員(自民)		山崎	誠	衆議院議員 (立憲)
長谷川淳	二 衆議院議員(自民)		横沢	高徳	参議院議員(立憲)
藤井比早	之 衆議院議員(自民)		玉木植	推一郎	衆議院議員(国民)
御法川信	英 衆議院議員(自民)		徳永	久志	衆議院議員 (教育)
務台 俊	介 衆議院議員(自民)		前原	誠司	衆議院議員 (教育)
和田 政治	宗 参議院議員(自民)		鈴木	宗男	参議院議員 (大地)
山本 博	司 参議院議員(公明)				

来賓一覧(省)	· · · · · · · · · · · · · ·
氏 名	役職
角倉 一郎	環境省 環境再生・資源循環局 次長
松﨑 裕司	環境省 環境再生・資源循環局 廃棄物適正処理推進課 課長
沼田 正樹	環境省 環境再生・資源循環局 廃棄物適正処理推進課 浄化槽推進室 室長



環境省•角倉一郎次長 (環境再生・資源循環局)



環境省•松﨑裕司課長 (廃棄物適正処理推進課)



鈴木宗男参議院議員 (大地)



環境省•松崎裕司課長 (廃棄物適正処理推進課)